

株式会社三次元メディア

滋賀県草津市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

世界の産業ロボットに目と脳を持たせ、知能産業ロボットの普及を図る

- 部品の3次元CADモデルと、部品箱の3次元点群及びステレオ画像における輪郭とのマッチングを行い、部品の3次元位置姿勢を正確に計算する
- 大学発のベンチャー企業であり、15年ぶりの滋賀県からの新規上場企業としても地元から強く期待されている
- 任意に置かれた部品の位置姿勢を計算してロボットに送り、その位置姿勢に併せてつかむ作業等を行うロボット制御機能を果たす

企業基本情報

| | |
|--------|---|
| 所在地 | 滋賀県草津市野路 1-15-5 フェリエ南草津 4F |
| 電話/FAX | 077-561-2799/077-561-2787 |
| URL | http://www.3dmedia.co.jp/index.html |
| 代表者 | 取締役代表執行役社長 徐 剛 |
| 設立 | 2000年 |
| 資本金 | 97,820万円(資本準備金込) |
| 従業員数 | 45人 |



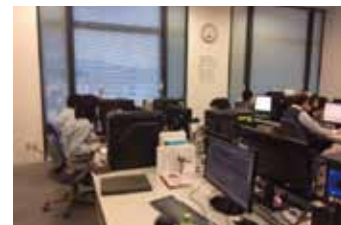
生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

同社は2000年12月20日に創業された立命館大学発ベンチャー企業であり、産業ロボットのための3次元ビジョンセンサで世界最先端を走っており、国内市場の6割を占める。2011年3月に世界初本格的3次元ロボットビジョンセンサTVSシリーズを発売して以来、累計で約200台販売し、約70台が生産ラインで実稼働している。大手メーカー等が出資する未来創生ファンドが株主に名を連ねる。



社内風景

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 世界初の本格的3次元ロボットビジョンセンサを開発販売、事業拡大中

同社は、単カメラでなくステレオカメラを用いて輪郭の全探索による3次元物体認識を独自のアルゴリズムで開発し成功させ、その手法は2件の特許を取得している。ステレオカメラを使うことで3次元位置決めに必要な情報が得られ、探索効率が大幅に向上して比較的短い時間内で処理を終えることができた。また、3次元物体の位置姿勢の認識精度も大幅に向上された。



3次元ロボットビジョンセンサ

▶▶▶ 立命館大学(びわこ・くさつキャンパス)発ベンチャー企業

滋賀県草津市に立地する立命館大学びわこ・くさつキャンパスから生まれた大学発ベンチャーであり、立命館大学のみならず、滋賀県・草津市からも多くのご支援を頂いている。

また、事業の成長を通じて、地元の雇用を増やしている。15年ぶりの滋賀県からの新規上場企業としても地元から強く期待されている。

地域発ベンチャーについて
代表者が講演

▶▶▶ 世界初の本格的3次元ロボットビジョンセンサの開発販売・国内市場の6割を占める

これまでの産業ロボットは決められた画一的パターンの動きしかできず、つかむ対象品も決まった場所に置かなければならない制約がある。しかし、本事業で開発した3次元ロボットビジョンセンサ「TVS」は任意に置かれた部品をロボットハンドリングする際の目の役割を果たし、事前に定義された3次元物体を見つけ、その位置姿勢を計算してロボットに送り、ロボットがその位置姿勢に併せてつかむ作業等を行う、一連の知覚とロボット制御機能を果たしている。



3次元ロボットビジョンセンサ